富山市科学博物館
TOYAMA SCIENCE MUSEUM

富山県におけるアオマツムシの分布資料への追加?

著者	根来 尚, 澤田 昭芳
雑誌名	富山市科学博物館研究報告
号	39
ページ	93-94
発行年	2015-06-20
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=1022

富山市科学博物館研究報告第39号，pp. 93－94；(2015)

短　　報

富山県におけるアオマツムシの分布資料への追加Ⅱ＊

根来　尚
富山市科学博物館
939-8084 富山市西中野町一丁目8-31

澤田　昭芳
富山県総合教育センター
930-0866 富山市高田525

Additional notes on the distribution of *Truljalia hibinonis* in Toyama Prefecture Ⅱ

Hisashi Negoro [1] and Akiyoshi Sawada [2]
[1] Toyama Science Museum, 1-8-31 Nishinakano-machi, Toyama-shi, Toyama 939-8084 Japan
[2] Toyama Pref. general Education Center, 525 Takada, Toyama-shi, Toyama 930-0866 Japan

はじめに

アオマツムシの現時点での県内の分布状態を明らかにするため，2012年（根来・澤田，2013），2013年（澤田・根来，2014）に調査を行った．本年も引き続き調査の空白部分での調査を行いその結果を報告する．

調査方法等は前回どおりである．

今回の調査にあたっても，富山県ナチュラリスト協会会員の牧　静枝氏からは八尾町・射水市・高岡市の多くの地点での有用な情報提供をいただいた．厚く感謝申し上げます．

調査日時・ルート・天候およびアオマツムシ鳴き声の有無

調査日時（全て2014年），調査ルート，調査時の天候と主な場所でのアオマツムシ鳴き声確認の有無を記す．「鳴」は鳴き声が確認されたことを示す．「不鳴」は確認されなかったことを示す．なお，標高100 m未満の地点では標高は記さない．

調査者：根来　尚

１．９月15日（18:00～21:00），氷見市，曇り

氷見市島尾（18:00）：鳴，氷見市北大町道の駅(18:30～50)：鳴，阿尾：鳴，小境：鳴，女良：鳴，脇(19:20)：鳴，灘浦IC：鳴，戸津宮（19:40）：鳴，森寺：鳴，余川（20:10）：鳴，桑院：鳴，飯久保（20:40）：鳴．

２．９月19日（18:00～19:00），小矢部市・南砺市，晴れ

小矢部市内山峠（標高200 m，18:00）：鳴，末友：鳴，南砺市土山（100 m）：鳴，法林寺（140 m）：鳴，小又（260 m，18:40）：鳴．

３．９月23日（18:00～20:00），上市町・立山町・富山市，晴れ

上市町千石（300 m，18:00）：不鳴，上市川第二ダム(300 m)：鳴，東種（300 m，18:10）：鳴，骨原（400 m）：鳴，浅生（400 m，18:15）：不鳴，西種（200 m）：鳴，柿沢：鳴，大岩（140 m，18:30）：鳴，立山町白岩ダム（140 m）：鳴，富山市大山町上滝（160 m，19:00）：鳴，長瀬（200 m）：鳴，熊野川ダム（320 m，19:15）：不鳴，東福沢（100 m）：鳴，日尾（160 m）：鳴，瀬戸（200 m，19:45）：鳴．

調査者：澤田昭芳

１．９月22日（18:00～20:00），黒部市・入善町・朝日町．晴れ

黒部市愛本（150 m，18:15）：鳴，入善町墓の木：鳴，朝山崎（190 m，18:50）：鳴，羽入（125 m，19:00）：鳴，道下：鳴，宮崎：鳴，境（19：50）：鳴，平下流（19:50）：鳴，平（70 m，20:00）．

２．９月28日（17：50～19：40），入善町・黒部市・魚津市，晴れ

入善町藤原（17:50）：鳴，入善：鳴，木根（18:00）：鳴，園家山：鳴），黒部市荒俣（18:15）：鳴，生地：鳴，石田（18:30）：鳴，魚津市江口：鳴，本江（18:40）：鳴．

牧　静枝氏提供資料

９月６日（20:00頃），高岡市・射水市

高岡市佐野（おとぎの森公園）：鳴，射水市布目沢：鳴，射水市黒河：鳴．

９月15日（19:00～20:00），富山市八尾町地区

滅鬼：鳴，下笹原（100 m）：鳴，宮ノ下（150 m）：鳴，東川倉（200 m）：鳴，赤石（300 m）：不鳴，西松瀬（300 m）：不鳴，桂原（350 m）：不鳴．

９月18日（19時～21:00），富山市・高岡市・射水市

富山市八町：鳴，射水市白石：鳴，作道新港の森：鳴，高岡市石丸：鳴，射水市奈古の江：鳴，七美：鳴，加茂中部：鳴，富山市海老江七軒：鳴，四方荒谷：鳴，岩瀬天神町：鳴，浜黒崎：鳴，水橋中村：鳴．

９月26日（20:30頃）立山町

立山町芦峅寺芳見橋：鳴，千垣：鳴，横江：鳴．

＊富山市科学博物館研究業績第482号

調査結果の概要

上記の結果を図１に示した．これには前回報告分も含んで示してある．今回，主に黒部川以東の調査を９月中に行えたことにより，前回の結果概要で述べたところと一部異なる結果となった．

前回の報告で，「黒部川以東では，平野部での分布密度も小さく，鳴き声が聞かれる場所が連続しない.」と記したが，やはりこれは前回の調査を10月中・下旬に行い，夜間の気温が低下しアオマツムシの鳴き声が急激に減少したためと考えられる．

今回の結果，黒部川以東においても平野部ではほぼ一円で連続して生息が認められた．

それ以外では，前回の調査結果の概要に記したことに訂正する所は無い．以下にその内容を再度記しておく．

鳴き声が確認出来た最も標高の高い地点は，西部・東部とも標高600 m，多くの尾根筋では400～500 mとなっている．谷筋では西部・東部とも標高300 m程度までは鳴き声の確認できる場所がある．中部でも谷筋では標高300 m程度までは鳴き声が確認できるが，いずれも350 mを超えると谷筋では鳴き声の確認ができない．西部の多くの谷筋では300 m前後まで鳴き声が確認できたのに比べ，東部の多くの谷筋ではおおよそ200 mを超えると鳴き声が聞かれず，富山県東部と西部では分布標高に差があると言ってもよいと思われる．これは，侵入時期の違いにより，より早くに侵入した県西部でより谷奥まで生息が見られるのかもしれない．

上記のように，尾根筋と谷筋とでは分布標高に違いがあり，尾根筋では谷筋に比べより標高の高い所まで生息する．やはり，尾根筋の方が同一標高では平均気温が高くなるのかもしれない．また，同一標高では尾根筋の方が距離的により平地に近いからかもしれない．

平地の田園地域で水田中に住居が散在し，樹木のまばらな地域での観察では，富山県北西部に隣接する石川県津幡町（根来の住居周囲）では，水田に囲まれた住居の庭木や水田周囲の単木のカキノキ，水田脇の狭い畑地のススキ等の背の高い草本上でもアオマツムシの鳴き声が聞かれる．富山県内の小矢部市の田園地域魚津市の田園地域でも同様であったが，砺波市や南砺市福光町，立山町の田園地域では住居の樹木や街路樹，単木のカキノキでは聞かれたが，水田周囲の草本上では聞かれなかった．また，県東部の黒部市・入善町・朝日町においては，住居や樹木の連続する場所では，樹上や水田脇の背の高い草本で鳴き声が聞かれたが，住居や樹木がまばらになると，住居の庭木や水田周辺では鳴き声は聞かれなかった．これらのことも，侵入時期の違いを反映しているのかもしれない．

今回調査で，ほぼ富山県内のアオマツムシ分布の現状がつかめたものと考える．これで一旦筆者等の調査は終了するが，今後の推移，特に高標高地への分布拡大に注目していきたい．



図１　確認された富山県内のアオマツムシ分布

文献

根来　尚・澤田昭芳，2013．富山県におけるアオマツムシの分布資料．富山市科学博物館研究報告，37: 103-105.

澤田昭芳・根来　尚，2014．富山県におけるアオマツムシの分布資料への追加．富山市科学博物館研究報告，38: 127-128.